

学校関係者評価報告書

学校法人鶴嶺学園

湘南ウェディング専門学校

学校関係者評価委員会

学校法人鶴嶺神奈川社会福祉専門学校、学校関係者評価委員会は令和元年度自己点検評価報告書の結果に基づき学校関係者評価を令和2年6月22日に実施したので下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員会 出席者

名 前	所 属
境野 勝久	道塾慶陽館 主宰
笹尾 茂樹	公益社団法人日本ブライダル文化振興協議会 委員
柳下 伸	NPO 法人 トータルライフサポートクラブ 理事

2. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施に当たっては、年度末に実施した「自己点検評価」を学校関係者評価委員会の皆様にごらんいただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価を取りまとめました。評価結果は今後の本稿における教育活動や学生指導の学校運営の改善に活かし教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表します。

3. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

各評価項目別の質疑意見は以下の通り

評価項目（1）	教育理念・目標
	<ul style="list-style-type: none"> ・学園、学校の理念は変わらないものだが、時代に合わせて目標は変えてゆく必要がある。 ・卒業後、即戦力になる人材の教育を行うこと ・「笑顔きらめくプランナーへの近道」

評価項目（2）	学校運営
	<p>就職先として、実習先として、サン・ライフグループの法人との連携を強化して欲しい。 他の実習先、就職先としての教員と施設との連携をすすめること。</p>

評価項目（3）	教育活動
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して学生の基礎学力低下（質の低下）が見られる。 ・教員自身の質の向上のためにも、外部の研修には積極的に出て欲しい ・退学者の防止への取り組みを継続 ・発達障がいを持つ学生への対応を求められる。教員は研修などで知識を得て適切な対応が出来るように ・今年度の話になるが、コロナウイルスの問題で学習の遅れが懸念される

評価項目（4）	学習成果
	<ul style="list-style-type: none"> ・退学予備軍の学生への個別フォローへの取り組みを継続。 ・教員だけでなく、事務職員も学生への日ごろの声がけなどで、ケアを行うこと ・学力の低い学生についての補修などを含めたフォローを継続して行うこと ・ABC 検定の国家資格化。合格率の向上をはかるように ・リモート授業の取り組みを進める必要がある

評価項目（5）	学生支援
	<ul style="list-style-type: none"> ・学費分納対応の学生について、分納の申請書の徹底を行うこと。 ・コロナウイルス問題で、学生の保護者の経済状況が変化するなどの問題が出ることもある。 学費面での支援について情報を得ること

評価項目（6）	教育環境
今後も必要な設備の改善は行っていただきたい ・リモート授業の取り組みを継続して進める必要がある	

評価項目（7）	学生の受け入れ募集
18歳人口に頼らない既卒社会人の取り込みは急務の案件である。 さらに、男子学生の獲得については継続して優先課題として取り組むこと 高等学校の授業開始の遅れと、募集活動の遅れが懸念される	

評価項目（8）	財務
本科外の授業（企業のマナー研修、ブライダル施設の職員向けステップアップ研修）などの開発に 取り組み、18歳人口だけに頼らない収入要素への取り組みは課題。 ・学費分納者の回収進捗に注意すること	

評価項目（9）	法令の遵守
特に問題なし	

評価項目（10）	社会貢献・地域貢献
セタウェディングや湘南ベルマーレでのイベントに今後とも積極的に取り組んで、学校のアピール につなげてもらいたい。 今回のコロナウィルス問題でブライダル産業そのものの動向に注意を払う必要がある。	

総評

上記10項目に対し、委員による評価を行った。

今後とも継続的に調査、評価を行い、学校運営の質の向上を図ってゆく。

同学園内に職業実践専門課程取得校が2つ既に存在しているが、湘南ウェディング校としては、他の学校にない、学校の独自性、優位性を維持し、広くアピールして行くことも求めたい。また、湘南地域だけでなく、箱根小田原地域の特色ある施設と連携し、当校の独自性を伸ばしつつ、教育内容の改善に取り組んでいただきたい。

また、今回のコロナ騒動でブライダル業界に大きな影響が出ており、学生の就職にも大きく関係してくる。動き出しの早期化、企業への働きかけなどを進めるように

以上